

## 「自転車ネットワーク路線」の追加（案）について

1 自転車ネットワーク路線について **参考資料 3**

自転車ネットワーク路線は、安全で快適な自転車走行空間を効果的、効率的に整備することを目的として選定したものであり、本市においては、これまで駅や高校周辺などの自転車通行量や交通事故の多い路線などを自転車ネットワーク路線として選定してきたが、平成28年3月に策定した「宇都宮市自転車のまち推進計画後期計画（以下、「後期計画」）」においては、観光・レジャーやLRTなどの主要な施策事業などの観点を加え充実させたところである。

このネットワーク路線の整備にあたっては、駅や学校周辺などを結ぶ主要路線や自転車事故の多い路線、整備済路線との連続性などを考慮して優先整備路線を設定し、重点的に整備に取り組んでいる。

※ 選定基準 **参考資料 4**

## 2 自転車ネットワーク路線の追加について

自転車ネットワーク路線については、交通状況や土地利用の変化、関連する事業の進捗などを踏まえて柔軟に見直していくものとしている。

今回、オリオン通りにおけるオープンカフェ事業の継続的实施やLRT事業の進捗により、自転車利用環境（通行量、押し歩きの推奨など）に変化が見込まれることから、歩行者と自転車の安全性の向上や公共交通とのさらなる連携強化を図るため、自転車ネットワーク路線の追加を行うものである。

※ オープンカフェ事業 **別紙 2-1**・ LRT事業 **別紙 2-2**

## (1) オープンカフェ事業への対応

オープンカフェの継続実施にあたっては、歩行者が安心して歩ける空間を目指すため、オリオン通り内での自転車の押し歩きを推奨することとしている。

特に夕方においては、オープンカフェの実施時間と高校生の帰宅時間が重なることからオープンカフェの社会実験の自転車利用実態を踏まえ、自転車通行量の増加が見込まれる路線をネットワークに位置付ける。

<追加路線案> **別紙 3-1**

- ・ 学校からJR宇都宮駅方面へ東進する際に、自転車通行量の増加が見込まれるオリオン通りに並行する路線

※ オープンカフェ実施時間中の中心市街地の自転車の利用状況を踏まえ、オリオン通り周辺道路におけるネットワーク路線への位置付けについては継続して検討する。

## (2) L R T 事業への対応

自転車と L R T との連携は、環境負荷の低減や自転車の利用拡大にもつながることから、柳田街道など 5 路線を位置付けているところである。

L R T 事業の実施に伴う、今後の交通利用環境の変化を見込み、L R T の沿線や L R T へと接続する幹線道路をネットワーク路線に位置付ける。

### <追加路線案> **別紙 3-2**

- ・ J R 宇都宮駅及び J R 宇都宮駅東口駐輪場から国道 4 号までの区間で鬼怒通りに並行する路線とこれをつなぐ路線
- ・ L R T に接続する幹線道路で自転車利用者が L R T に乗り継ぐことが期待できる 2 km の範囲

## 3 整備の考え方

本市の施策事業の実施に合わせて、自転車走行空間を整備する必要があることから、優先整備路線に位置づけ、整備にあたっては関係機関との協議を踏まえながら、早急に着手できるよう努める。

## 4 今後のスケジュール

平成 29 年 3 月末 自転車ネットワーク路線の修正